

2022年度 定期予防接種 一覧表

予防接種名	接種対象者	接種開始年齢	接種回数	接種間隔
ヒブ	生後2か月～5歳未満	生後2か月～7か月未満 ※望ましい接種スケジュール	4回	初回 27日間以上の間隔（標準的には27～56日の間隔）をおいて、1歳に至るまでに3回 追加 3回目の接種から7か月以上の間隔（標準的には7～13か月未満の間隔）をおいて1回
		接種開始が生後7か月～1歳未満	3回	初回 27日以上の間隔（標準的には27～56日の間隔）をおいて1歳に至るまでに2回 追加 2回目の接種から7か月以上の間隔（標準的には7～13か月未満の間隔）をおいて1回
		接種開始が1歳～5歳未満	1回	—
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満	接種開始が生後2か月～7か月未満	4回	初回 27日以上の間隔をおいて、2歳（標準的には1歳未満）に至るまでに3回 ※2回目が1歳を過ぎたときは3回目を接種せず追加接種を実施 追加 3回目の接種から60日以上あけ、1歳以降（1歳～1歳3か月が望ましい）に1回
		接種開始が生後7か月～1歳未満	3回	初回 27日以上の間隔をおいて2歳（標準的には1歳未満）に至るまでに2回 追加 2回目の接種から60日以上あけ1歳以降に1回
		接種開始が1歳～2歳未満	2回	60日以上の間隔をおいて2回
		接種開始が2歳～5歳未満	1回	—

予防接種名	接種対象者	接種回数	接種間隔
ロタウイルス	出生6週0日～出生24週0日	2回	ロタリックス 1回目/生後2か月から初回接種を開始する。生後14週6日まで（出生日の翌日を1日として換算）の接種を推奨 2回目/1回目の接種から27日以上の間隔
	出生6週0日～出生32週0日	3回	ロタテック 1回目/生後2か月から初回接種を開始する。生後14週6日まで（出生日の翌日を1日として換算）の接種を推奨 2回目/1回目の接種から27日以上の間隔 3回目/2回目の接種から27日以上の間隔
B型肝炎	1歳未満	3回	生後2か月から望ましい 2回目/1回目から27日以上の間隔をおく 3回目/1回目から139日以上の間隔をおく
四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	生後3か月～7歳6か月未満	4回	初回 20日以上の間隔（標準的には20～56日の間隔）をおいて3回（生後3～12か月までが望ましい） 追加 3回目の接種から6か月以上の間隔（1年～1年半後が望ましい）をおいて1回

予防接種名	接種対象者	接種回数	接種間隔
BCG	1歳未満 (生後5か月～8か月が望ましい)	1回	—
水痘	1歳～3歳未満 ※水ぼうそうにかかったことのある方は接種不要。	2回	初回 1歳から1歳3か月に至るまでが望ましい 追加 初回接種終了後3か月以上の間隔（6か月～12か月が望ましい）をおいて1回
麻しん風しん混合	1期 1歳～2歳未満	1回	1歳の誕生日～2歳の誕生日の前日まで
	2期 2016（平成28）年4月2日～2017（平成29）年4月1日生まれ（年長児）	1回	小学校就学前1年間（4月1日～3月31日まで）に1回
日本脳炎	3歳～7歳6か月未満	4回	1期初回 3歳～4歳が望ましい 1週間以上の間隔（1～4週間の間隔が望ましい）をおいて2回
			1期追加 4歳～5歳が望ましい 1期初回2回目の接種から6か月以上あけて（1年後の接種が望ましい）1回
	9歳～13歳未満	特例措置	2期 9歳～10歳が望ましい 4回接種のうち不足回数分を20歳未満の間、接種可能接種間隔については要相談 9歳～13歳未満の間、初回2回・追加の不足分を定期接種として接種可能接種間隔については要相談
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11歳～13歳未満 (小学6年生の学年での接種が望ましい)	2期 1回	—
子宮頸がん	小学校6年生から 高校1年生相当の女性	3回	ガーダシル 2回目/1回目から1か月以上の間隔（2か月の間隔が望ましい）をおく 3回目/2回目から3か月以上の間隔（1回目から6か月以上の間隔が望ましい）をおく
	2006（平成18）年4月2日～2011（平成23）年4月1日生まれの女性 (中学1年生の学年での接種が望ましい)		サーバリックス 2回目/1回目から1か月以上の間隔をおく 3回目/1回目から5か月以上かつ、2回目から2か月半以上の間隔（1回目から6か月以上の間隔が望ましい）をおく
	1997（平成9年）4月2日～2006（平成18年）4月1日生まれの女性	キャッチアップ接種	3回接種のうち、不足回数分を令和4年4月～令和7年3月までの3年間に接種

で囲まれた年齢(学年)はその予防接種を開始する年齢の目安です。他の予防接種との間隔を考慮したうえで接種してください。